

市町村・事業者名	北部広域市町村圏事務組合
----------	--------------

令和3年度沖縄振興特定事業推進費(市町村・民間)検証シート

事業名	「やんばるの歴史・文化・自然」周遊促進事業				担当部課名	北部振興対策室
					認定市町村名	北部広域市町村圏事務組合
広域性要件または先導性要件の該当有無	<input checked="" type="checkbox"/>	広域性要件	現年事業または繰越事業	<input checked="" type="checkbox"/>	事業実施(予定)年度	令和元年～3年度
	<input type="checkbox"/>	先導性要件		<input type="checkbox"/>		

事業内容 北部圏域において、世界文化遺産「今帰仁城跡」やサトウキビを原料とするラム酒などの歴史文化、珍しい地形を楽しめるダイビングや希少野生動植物等の自然を味わえる周遊ルートの設定や誘客・PR等を行う。

効果発現年度 当年度 後年度(令和3年度)

実施方法 直接実施 委託 補助 負担 その他 ()

予算額・執行額 【単位:円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況	R1年度	R1年度(繰越)	R2年度	R3年度	R4年度
		当初予算額	6,050,000	0	20,000,000	25,000,000
増減額			0	0	0	-
予算現額		6,050,000	0	20,000,000	25,000,000	-
前年度から繰越			6,050,000	0	0	-
翌年度へ繰越		6,050,000	0	0	0	-
計		0	6,050,000	20,000,000	25,000,000	-
執行済額			5,720,000	18,590,000	24,200,000	-
うち補助金充当額		0	4,576,000	14,872,000	19,360,000	-
不用額		0	330,000	1,410,000	800,000	-
執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	94.5%	93.0%	96.8%	-
予算の状況の説明	令和元年度については、北部12市町村との事業内容の検討に時間を要したため、令和2年度に繰越し実施することとなったが、計画通り執行する事ができた。 令和2年度、令和3年度においては、当初計画のとおり執行することができ、予算執行は適正であったと考える。					

活動目標(指標)		達成状況			
		R1年度	R2年度	R3年度	R4年度
周遊ルートの商品開発・PR	目標	(・ターゲット設定 ・周遊ルート案作成)	(・モニターツアー実施 ・周遊ルート案修正)	(・モニターツアー実施 ・周遊ルート完成)	()
	実績	(・ターゲット設定完了 ・周遊ルート案作成完了)	(・モニターツアー実施 ・周遊ルート案修正)	(・モニターツアー実施完了 ・15ルート完成)	()
レップ拠点(欧州)での販促実施	目標	(・PR方法検討)	(・現地拠点よりPR)	(・物産活用したPR ・ニーズ調査)	()
	実績	(・PR方法検討実施)	(現地拠点よりPR実施 ・Facebook ・ニュースレター)	(・物産活用したPR実施 ・アンケートの実施による北部 (やんばる)の認知度及びニーズ調査実施)	()
多言語ガイドに関する調査検討	目標	(・現状調査)	(・モニターツアー参加)	(ガイドマニュアル作成)	()
	実績	(・現状調査完了)	(・モニターツアー参加)	(・ガイドマニュアル作成 56施設分完了)	()
やんばるロゴ制作	目標	(-)	(・ロゴ制作)	(-)	()
	実績	-	(・ロゴ制作完了)	-	()
移動手段確保のためのMaaSの実用化検討	目標	(・県内外事業者調査)	(・交通事業者協議)	(・動向調査)	()
	実績	(・県内外事業者調査完了)	(・交通事業者3社協議1回)	(・動向調査完了)	()
体験メニュー(コト消費)に関する調査検討	目標	(・情報収集)	(コンセプト設計)	(WEB掲載)	()
	実績	(・情報収集300件)	(コンセプト設計完了)	(WEB掲載完了)	()
交通・人材シェアリングエコノミーの検討・導入	目標	(-)	(・現状調査)	(・動向調査)	()
	実績	-	(・現状調査完了)	(・動向調査完了)	()
観光協会連合設立・DMO化の検討	目標	(DMO事例調査)	(協議会開催)	(協議会・専門部会開催)	()
	実績	(DMO事例調査完了)	(・協議会1回)	(・協議会2回 ・専門部会4回)	()

達成状況説明		<p>○周遊ルートの商品開発・PRについては、R1年度より周遊ルートを検討し、R3年度では15ルートを設定した。</p> <p>○レップ拠点(欧州)での販促実施は、R1年度より販促内容などを検討してきたが、R3年度はコロナによりフランス開催はできず、京都のフランス領事館で1回実施した。(アンケート回答者数 フランス人25名・日本人20名)</p> <p>○多言語ガイドに関する調査検討は、ガイドマニュアルとして、市町村が勤める56施設のものを作成した。</p> <p>○やんばるのロゴ作成: R2年度にロゴマークを1つ作成した。</p> <p>○移動手段確保のためのMaaSの実用化検討: 実用化に向けて事業者の動向調査をし検討を行った。</p> <p>○体験メニュー(コト消費)に関する調査検討: R1年度より調査を行い、R3年度WEBサイトの掲載した。</p> <p>○交通・人材シェアリングエコノミーの検討・導入: 調査を行い、これまで車と人のシェアについて検討を行ってきた。</p> <p>○観光協会連合会設立・DMO化検討: DMO等を含めた組織の必要性を検討し、R3年度は、協議会2回・専門部会4回実施した。</p>					
成果目標(指標)及び進捗状況	成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	後年度目標値(年度)	
	北部圏域の入込観光客数	目標	()	()	(620万人)	()	
		実績			167万人	-	
	成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	後年度目標値(年度)	
	周遊ルート上の主要施設のレジ通過数	目標	()	()	(1,680千人)	()	
		実績			1,260千人	-	
成果目標(指標)	基準値(年度)	R1年度	R2年度	R3年度	後年度目標値(年度)		
周遊ルート上の主要施設の消費額	目標	()	()	(1,443百万円)	()		
	実績			960百万円	-		
進捗状況説明	新型コロナウイルス感染症の影響により、入域観光客数および主要施設のレジ通過数や消費額については目標を大きく下回り達成することができなかった。						
取組の検証	成果目標に対する原因・要因分析			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)			
	目標に届かなかった要因として、新型コロナウイルス感染症拡大防止による観光自粛や海外からの規制等の措置によるものと考えられる。			各周遊拠点施設やイベント会場において、感染防止対策を強化し、観光客に対する安心・安全な受入体制を行うことで入域観光客の増に繋げる。			
今後の取り組み方針							
・新型コロナウイルス感染症の影響で国内外からの観光客が激減している状況ではあるが、各周遊拠点施設やイベント会場において、感染防止対策を強化し、観光客に対する安心・安全な受入体制を構築するとともに、感染症対策も取り入れながらのPRも行っていく。							

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
		24,200	24,200	19,360	4,840	0
<p>北部広域圏市町村事務組合 24,200千円</p>		<p>委託料 24,200千円</p>		<p>㈱国建 24,200千円</p> <p>(令和3年度「やんばるの歴史・文化・自然」周遊促進事業業務委託)</p>		
資金の流れ、費目・費目の点検評価	評価	点検項目			評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。			委託契約の相手方については、地方自治法施行令第167条の規定による関係法令及び手続きに基づき決定しており、妥当であったと考える。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。			業者の見積もりをもとに積算したので予算規模は適切であったと考える	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。				
○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			実績報告関係書類により、真に必要なものに限定されていることを最終確認している。		